

# アオナガタマムシ

*Agrilus planipennis ulmi* Y. Kurosawa  
コウチュウ目・タマムシ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：要注目

【環境省カテゴリー】—

## 選定理由

本県では数採集例があるのみ。

## 分 布

北海道～九州に分布するが局所的。本県では奥越地方、南越地方、若狭地方のブナ帯で稀にみられる。

## 種の特徴

体長約 13 mm。中型の細長いタマムシ。クロナガタマムシに似るが、全体に弱い光沢のある緑色で寸胴。ブナ帯に生息し、夏～初秋、伐採木周辺の日当たりの良い梢先で活発に活動する。従来は寄主植物はクルミ類とされたが、最近は複数の樹木が知られる。近年、中国から米国に移入している。

## 生息を脅かす要因

確認された場所は大幅に環境が変動したとは考えられないが、今後の推移を注視する必要がある。

参考文献 福井県自然環境保全調査研究会（1999）、福井県自然環境保全調査研究会（1985）、大桃・福富（2013）

市 町 別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
					○			○								○	

# サビナカボソタマムシ

*Coraebus ishiharai* Y. Kurosawa  
コウチュウ目・タマムシ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：県域準絶滅危惧

【環境省カテゴリー】—

## 選定理由

今回新たな生息地がいくつか確認されたことと、全国的な指定状況を考慮し、前回の準絶滅危惧から要注目にランクダウンした。県内では主に低山地で得られており、こうした環境は人為改変を受けやすいことを考慮し、今後も注視は必要である。

## 分 布

本州、九州に分布。県内では従来美浜町雲谷岳、越前町若須岳で記録があったが、今回、若狭町三十三間山、越前町六所山、福井市金毘羅山と大野市南六呂師で確認された。

## 種の特徴

体長 10～13 mm。中型のやや細長いタマムシ。全体銅色で、上翅には黄金色毛からなる斑紋がある。成虫は初夏に出現し、ヤマボウシにつく。成虫はヤマボウシの花や葉に飛来する。

## 生息を脅かす要因

開発、森林伐採による生息環境の破壊が脅威となる。

参考文献 福井県自然保護課（2002）、黒沢ら（1985）、大桃・福富（2013）

市 町 別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○			○			○									○	○

# シナノキチビタマムシ

*Trachys auriflua* Solsky  
コウチュウ目・タマムシ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：県域絶滅危惧Ⅰ類

【環境省カテゴリー】—

## 選定理由

確認メッシュは減少しているが、絶滅のおそれが高まっているとは判断しがたい。本県は本種の分布西限であり、継続して注視していくことが必要である。

## 分 布

北陸を中心とした日本海側及び朝鮮北部、中国北東部、シベリア東部に分布。県内では、勝山市、大野市、越前市（旧今立町）、南越前町（旧今庄町）で確認されている。

## 種の特徴

体長 5 mm前後の大型美麗種。頭部と前胸部は金色、鞘翅は紫色を帯びた赤銅色で、後方に不明瞭な白毛による強く湾曲した横帯を2本もつ。多雪地帯のブナ林に特有で、食草はオオバボダイジュとシナノキである。

## 生息を脅かす要因

食草のオオバボダイジュやシナノキは、ブナ林に点在するが、優勢な種ではない。食草を含むブナ林が失われると生息できなくなる。越前市権現山では、食草が中腹～山頂にかけて存在し、20年ほど前は本種が多数確認できたが、近年全くみられなくなった。

参考文献 福井県自然環境保全調査研究会（1999）、大桃・福富（2013）

市 町 別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
								○		○		○			○	○	